

地域包括ケア病棟のご紹介

当院では患者様が安心して在宅生活が送れるよう、積極的に早期から「退院支援」へ取り組んでいます。入院時より、多職種と情報共有を図り、必要であれば「入院時家屋訪問」を行い、患者・ご家族様のニーズに沿い在宅環境を見据えた「集団レクリエーション」、「集団リハビリ」、「生活リハビリ」を実施します。介護・福祉関係者とも密な連携を図り、在宅療養支援を提供することで「元気で活力のある生活への復帰」をめざしております。

【目的】

入院当初はリハビリ担当の療法士が主に関わり“体”を中心としたリハビリを行います
体力が向上してくるにつれて、
“生活”を見据えた看護師・介護士中心のリハビリへと移行していきます

個別対応のリハビリ

主治医より指示を受けたり
リハビリの療法士がマンツーマン
で関わりを持ちます



作業療法士が
病棟スタッフへの
助言者として
関わっています

生活のリハビリ

病棟の看護師・介護士が主導
で生活場面の中でリハビリ
の関わりを持ちます
例えば…
病棟内での動作練習。退院に
向けての模擬動作の反復練
習。自主訓練の援助。集団リ
ハビリ・余暇活動への参加。
外出・外泊への援助。退院前
訪問。

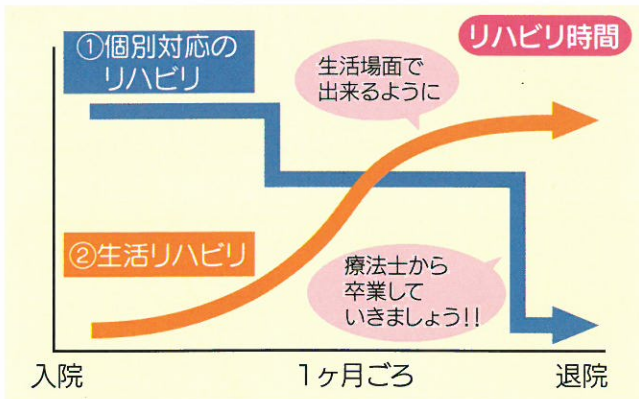
退院へ



【留意事項】 ※担当医によって判断されます。

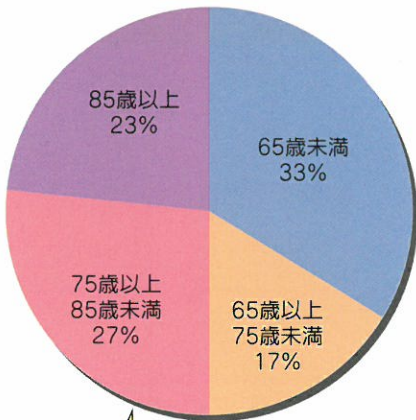
個別対応のリハビリ時間に関しては入院期間、病状や身体の状態に応じて変動します。
入院当初より、病名や身体の状態によっては個別対応のリハビリが無く、生活リハビリのみの場合もあります。

地域包括ケア病棟 生活リハビリと疾患別リハビリ



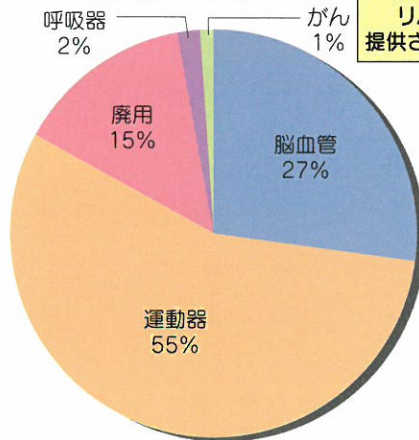
地域包括ケア病棟実績(H30年4月～H31年3月)

年齢層



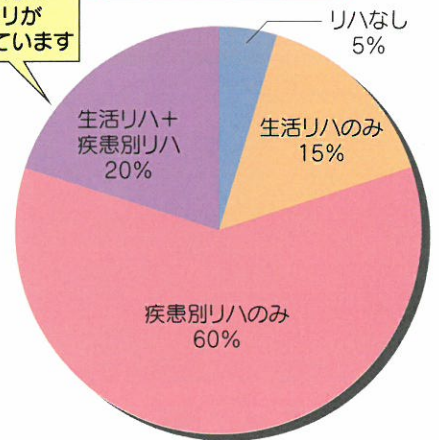
幅広い年齢層の方が入院されています

疾患割合

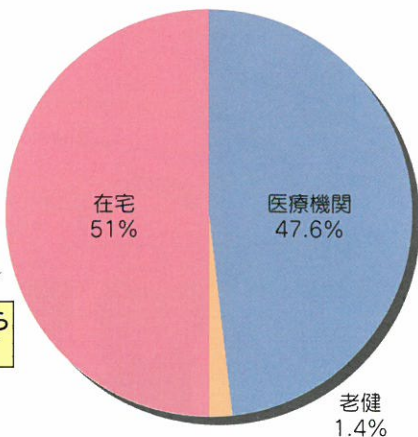


95%の方にリハビリが提供されています

リハ割合

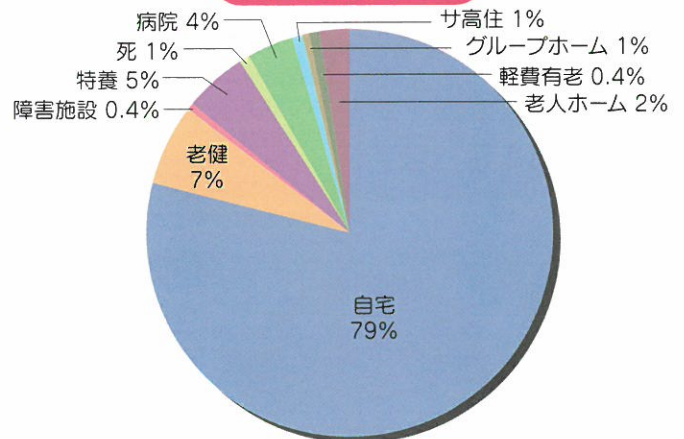


入院元割合



半数の方が在宅から入院されています

退院元割合



- 退院患者に占める、在宅等に退院する方の割合(在宅復帰率、H31年4月)78%
- 看護必要度評価票A項目が1点以上またはC項目の得点が1点以上の患者の割合(H31年4月) 16.1%
- 直近1年間の在宅患者の受入実績件数(H30年1月～12月).....115件
- 平均在院日数(H31年4月)48.4日

是非、お気軽にご相談ください!

高次脳機能障害支援拠点機関だより

高次脳機能障害支援室では、外部の様々な機関と連携・協働して、患者様の支援にあたっています。今年度より新たに、松山市内の自動車教習所と連携し、高次脳機能障害をお持ちの方の自動車運転再開に向けて実車評価を行うという取組みを始めました。教習指導員同乗のもと実際に車を運転してみることで、病院での机上の評価だけでは測れない、操作面・安全面での認知機能を確認することができます。改造車もあるため、高次脳機能障害だけでなく、片麻痺のある方、車椅子でご生活されている方も、今のお身体の状態に合った仕様で運転を試してみることが可能です。公共交通機関の発達していない地域では特に、日常生活や社会生活において自動車運転ができるかどうかはとても重要です。安全と安心を確保しつつ、障害があいながらもQOLの維持・向上を目指していけるよう、私たち支援室も精一杯サポートできるよう努めてまいります！
(支援室:中平)



リハビリテーション部より報告

健康フェスタに参加しました!

- ①2019年9月 6日(金)～ 8日(日) 会場:フジグラン松山
- ②2019年9月21日(土)～23日(月) 会場:フジグラン重信

実施した内容は認知機能バランサー(PCやタブレット等を使って、ゲーム感覚で見当識、注意力、記憶力、計画力、空間認識力の5側面の認知機能バランスの確認ができる)と座圧センサーやクッションを使った座り方体験を行いました。連日80名前後の方々に来ていただき、朝から夕方までどの時間帯も忙しかったです。普段とは違う仕事だったので楽しさと充実感がありました。

お役立ち講習会では、当院の作業療法士 加藤真弘が『抱え上げない・引きずらない』ケア講座を講演しました。お客さんからは「さっそく今日から親の介護の参考にしたい」、「他にも作業療法士に教えてほしい」等とうれしいお言葉をいただきました。健康フェスタを通じて、日常の悩みや不安を少しでも解消していただけるよう作業療法士会は今後も活動していきたいと思います。
(OT 菅)



参加した
作業療法士

菅、平野、加藤真、武内、池田、花田、田中翔
善家、三瀬、横井、石田、加藤裕、中矢、宮崎

就任医師紹介

リハビリテーション科

だいろくまゆか

大六菜由佳 医師

兵庫医科大学医学部卒業



先生より一言

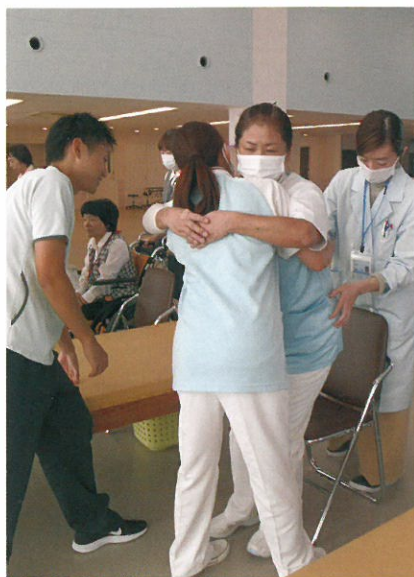
関西での研修医時代、疾患そのものは落ち着いたものの帰る事が困難な患者さんを目の当たりにし、リハビリテーション科医師としての診療を開始しました。この度愛媛県で当院にて勤務させて頂けることになりました。患者さんとお家族さんが安心して生活できるようお手伝いできればと思います。

7月より勤務
しています



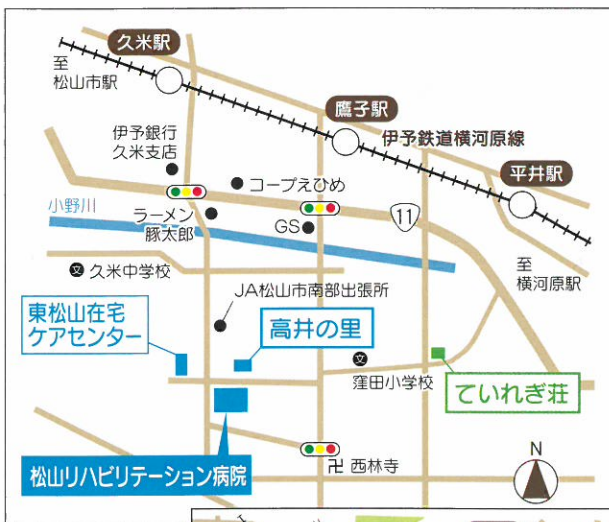
職員対象

車椅子移乗介助研修



10月15日～11月5日の期間中に計6回、車椅子移乗介助研修を行いました。リハビリテーション部職員の指導のもと、事務職員等を対象に段車椅子から車椅子への移乗動作、車椅子からベッドへの移乗動作、ベッドからベッドへの移乗動作等の移乗介助方法を学びました。

移乗時の安全確保のための注意点や、声掛けのポイントを職員同士で実際に行いながら体験する事が出来ました。
(医事課 河野)



医療法人財団 慈強会

松山リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

〒791-1111 松山市高井町1211番地

TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670

ホームページアドレス <http://www.jikyokai.or.jp>

許可病床 326床・6病棟

(回復期病棟160床・一般病棟116床・地域包括ケア病棟50床)

日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 伊予鉄久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約7分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里

TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター

東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425

東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158

東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘

TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

味酒野 ていれぎ荘

TEL.089-989-5571 FAX.089-989-5572

〈松山市委託事業〉松山市地域包括支援センター 小野・久米

TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620

編集責任者 事務長 武井淳二